

5784 **KURAKU** 久楽心模様：旅の終わりは、琵琶湖大橋から湖東コース 11

.....

帰路は、堅田からの湖西のコースもある。夜道になりそう。

交通量も多い。道路状況も変化しているだろう。遠回りになるが、危うきに近寄らず、と判断。

琵琶湖大橋から、湖東、近江大橋、逢坂山、南禅寺、アトリエ久楽のコースを選択。

橋の上は、気温 22 度、風速 7 m、と表示板。橋の眼下を、波を蹴って走るモーターボート。

東を見ると、建物には灯りが点灯。後ろの山は、**近江富士**。

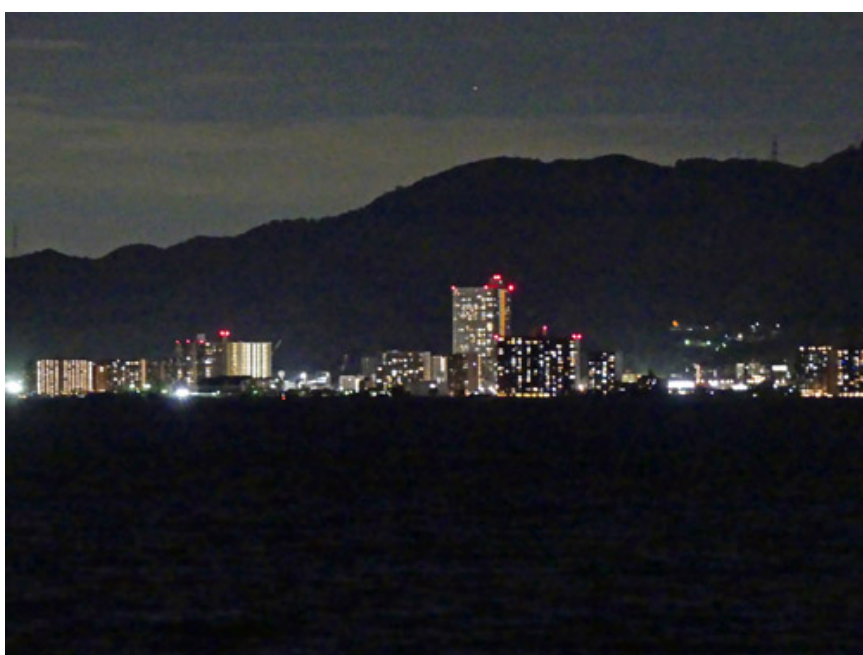


今日中に帰れるか？ 夜道に日はくれない。急ぐこともない。

文句も言われぬ。今は、安全第一。楽しみながら、気をつけながら・・・

～～山はみどり 野に花 人にはこころ～～

定番の光景や、若者たちが、テントで楽しそう。いい思い出になるだろう。いろいろ目撃。
仲間と、大いに楽しんで、勉強もして、いい時間、思い出を持って欲しい。
そんな思いを抱きながらパチリ。



青春とは・・・？ 心の青春という言葉もある。

夢は探すのではなく、夢は創るもの。

幾つになっても、懲りずに、したたかに、自律に自立という、個の確立への夢挑戦。

アイデンティティーを求めて、魂の世界をさまよう。

誰のためでもない。大切なことだから。自分自身への鼓舞のための言葉。

帰宅は、午前1時。この日は、約18時間、前日も、約15時間の稼働。帰宅後の翌日も、クールダウン運動。日焼けが半端なし。前腕が真っ黒、入浴、痛くて、腕がつけられない状態。

体力の異変？ 低下は痛感しているが、創意工夫したいと、心模様にした。

その後、NHK午後5時のニュース。熱中症、「**暑熱順化**」という言葉が、紹介されていた。

今、4月、連休前。早くも、私の前腕が、一皮むけた状態だが、例年と変わらず。

今年の気温は高いらしい。いろいろ熱中症への注意事項が紹介されていた。素直に配慮したい。



琵琶湖にて、この小さな旅の道中にての出会い。

花の見頃は、あ～と言う間に終わる。一過性だから、愛おしい。

自然は、まちがいなく、翌年も、人間様を楽しませてくれるのだろう。

人間様は、どうなのだろう。ふと、思いつくままに・・・

京都は、次の季節へ

連日のクールダウンの体力テスト、**継続**。いろいろな気づきや課題も確認。

暑い暑いと、嘆いても、暑さは変わらない。創意工夫が求められる。

大切なのは、体と心を動かすこと。一般的な桜は終わり、哲学の道なども、寂しい限り。

桜としては、八重桜なのか、目に止まった。

その後の散策の目標は、**目に青葉**、というか、**新緑**が、どの程度か、**ロケハン**。

いろいろポイントを訪ねてみた。花に元気をもたらったのか、

いつもの状態に戻っている。しかし、今回の小さな旅にて感じた、小さな気づきは、注視したい。

何しろ、私の夢挑戦には、**心身健康が絶対条件**。そして、その後、新緑との出会い。

